

病 院 説 明 書  
【 新久喜総合病院 】

## 【 1. 病院の基本情報】

- ① 医療機関名：新久喜総合病院
- ② 開設主体： 医療法人社団埼玉巨樹の会
- ③ 所在地： 埼玉県久喜市上早見 4 1 8 番 1

- ④ 許可病床数  
(病床種別)

一般病床	療養病床	合計病床数
300 床	床	300 床

(病床機能別：2017 年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合 計
202 床	床	98 床	床	300 床

- ⑤ 診療科目：内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病代謝内科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、眼科耳鼻咽喉科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、肛門外科、放射線科救急科、麻酔科、病理診断科、リハビリテーション科
- ⑥ 病床稼働率： 96.5%
- ⑦ 平均在院日数：急性期病床 9.7 日 回復期病床 55.9 日)

- ⑧ 政策医療（※該当するものに○を付けてください。）

がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	在宅医療
救急	小児	周産期	災害	精神

- ⑨ 特徴的な診療機能

平成 28 年 4 月以降、2 年間で 12,000 件以上の救急車の搬送受け入れをしており、病床機能としては特定集中治療室管理料（8 床）、ハイケアユニット入院医療管理料（12 床）、急性期一般入院料 1（182 床）を整え地域の急性期医療の一翼を担うとともに、回復期リハビリテーション病棟入院料 1（98 床）の設置及び P T、O T、S T のリハビリテーション職員 123 名を配置し回復期リハビリテーション機能についても充実し急性期から回復期リハまで質の高い医療を提供しています。

各疾患別の診療体制として、がん医療部門については埼玉県がん診療指定病院として検診から診断、手術、化学療法、放射線治療、緩和ケアまで切れ目のないチーム医療に取り組んでいます。

脳卒中医療部門については急性期脳梗塞に対する t-PA 静注療法その他、適応症例によってはより有効なカテーテルを用いた脳血管内治療（血栓回収療法）にも取り組んでいます。

心血管疾患医療部門については、急性心筋梗塞、心不全、肺塞栓、大動脈解離などの重症例に対し緊急手術、緊急カテーテル治療等、循環器内科と心臓血管外科が連携し常時対応可能かつ高水準医療を提供しています。

救急医療部門についてはジェネラリストとしての素養を有する内科系及び外科系医師の混成チームが 24 時間体制で 2 次レベル以上の全救急症例に対応しています。

回復期リハビリテーション部門についても専従医師の指示のもとリハビリスタッフが継続的なリハビリを実施することによる治療効果を得るため、土日、祝日はもちろん年末年始についても無休で毎日リハビリを提供しています。

その他、災害拠点病院として大規模災害に備え診療機能を維持し自治体及び救急消防、地元医師会と連携して訓練等に取り組んでいます。

⑩ 職員数： 平成 30 年 7 月 1 日現在

・ 医師	常勤 50 名	非常勤 47 名	：（常勤換算 9.6 名）
・ 看護職員	常勤 387 名	非常勤 34 名	：（常勤換算 21.3 名）
・ 専門職	常勤 223 名	非常勤 4 名	：（常勤換算 2.8 名）
・ 事務職員	常勤 131 名	非常勤 20 名	：（常勤換算 10.3 名）

【 2. 現状と課題 】

① 病院の現状

24 時間、365 日断らない医療を掲げ取り組んでおり急性期及び回復期病床ともにほぼ満床の状態を維持しています。地域に post-acute を受け入れていただける医療機関の病床数には限りがあり、post-acute を自院で診ている現状です。即ち、高度急性期／急性期の 202 床の病床において 1 日、20 名の入院、平均在院日数 10 日で毎月約 600 名が高度急性期／急性期病床に入院しているなかで、約 8% の約 50 名が、自宅へ退院できず自院の回復期リハビリテーション病棟で平均 2 ヶ月のリハビリテーション実施後の自宅へ退院しています。

日々発生する救急患者に対し回復期、慢性期に移行した患者の後方医療機関の確保に苦慮しており、特に冬場など救急搬送件数が増加する時期に満床のため受入れを断らざるを得ない状況が発生しています。

② 病院の課題

地域のニーズに応え救急患者の受入れを断ることなく受け入れる体制の整備が急務です。地域の循環器疾患、脳血管疾患等の救急医療の充実、またがん診療に対する質の高い医療の提供のため、高度急性期／急性期病床の増強が望まれます。高度急性期／急性期の円滑な運営のために post-acute 対策として回復期リハビリテーションの増強も併せて要すると考えています。

③ 今後の方針

【現在】

(病床種別)

一般病床	療養病床	合計病床数
300 床	床	300 床

(病床機能別：2017 年病床機能報告)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
202 床	床	98 床	床	300 床



【2025 年】

(病床種別)

一般病床	療養病床	合計病床数
450 床	床	450 床

(病床機能別)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
300 床	床	150 床	床	450 床

\* 今後変更の予定がある場合のみ記載してください。

④ その他

地域の中核病院として地域医療を担うため、必要な機器や設備、人員を投入して救急、循環器、脳血管障害に対する急性期医療及びがん診療を柱として体制整備を行っています。消化管出血受入体制や精神合併症救急患者受入体制、搬送困難事案受入態勢などの体制構築についても埼玉県と協力して実施しています。

地域医療を担うという観点から医療人の教育にも力を入れており、卒後医師臨床研修病院として医師人材育成、また看護学校を始めとした各医療教育施設と連携して看護師、医療技術スタッフ、医療事務員の研修にも努めています。

今後、来るべき超高齢者社会に向けて地域包括ケアを実践するための中核医療機関として、施設設備の拡充、人員の確保に努め体制の構築を進めてまいります。